

令和4年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果について

5年生を対象に実施した「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の本校の結果が届きました。調査対象の5年生には、個人票として配付済みです。

なお、本校における傾向は次の通りです。

【男子】

男子は握力、長座体前屈、反復横跳び、ソフトボール投げと8種目中4種目で全国を上回っていて、基本的な体力が定着している傾向がみられます。

課題としては、20mシャトルラン、50m走、立ち幅跳びが大きく全国平均より下回っているため持久力や走力、跳躍力の向上が必要になります。

【女子】

女子は、握力、上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、立ち幅跳び、ソフトボール投げと8種目中6種目で全国を上回っています。特にソフトボール投げは大きく全国平均より上回っています。

課題としては、20mシャトルラン、50m走が全国平均より大きく下回っていますので、持久力や走力の向上が必要になります。

【質問紙から】

質問紙中「学校の体育の授業以外で、運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツを合計で1日およそどのくらいの時間していますか。」という質問では、男女とも全国平均より高く回答しており、普段から運動に親しんでいる様子が見られます。また、「体育の授業で、タブレットなどのICTを使って学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。」の質問も全国平均より高く回答しています。

【全体を通して】

光南小学校5年生の子ども達の運動能力は、全国平均を上回るものが多い傾向にあり、子ども達の運動能力は高い傾向にあります。

その要因としては、子ども達の普段の運動習慣が確立されていることや、ICTの活用による授業改善なども考えられます。

光南小学校では、これからも体育の授業のみならず、教育活動全体を通して児童の適切な運動量を確保し、体力・運動能力の向上に努めていきます。